［標準様式例８－３］

随意契約結果及び契約の内容

業　務　の　名　称	東北港湾のバルクターミナルにおけるPSカードシステム導入検討業務
業　務　概　要	本業務は、東北管内の港湾（八戸港、仙台塩釜港石巻港区・仙台港区、小名浜港、酒田港。以下、「対象港」という。）のバルクターミナルを対象に、バルク貨物の取扱い状況と今後の動向を把握し、効率的な輸送体系の構築を目指して、PS カードの導入に向けた検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 東北地方整備局副局長　木本　仁 宮城県仙台市青葉区本町３－３－１
契　約　年　月　日	令和8年10月26日
契　約　業　者　名	公益社団法人日本港湾協会
契約業者の住所	東京都港区赤坂3丁目3番5号
契　約　金　額	22,000,000 円(税込)
予　定　価　格	22,253,000 円(税込)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業　種　区　分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和8年10月26日
履行期間（至）	令和9年2月26日
備　考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

随 意 契 約 理 由 書

１．業務の名称　東北港湾のバルクターミナルにおけるＰＳカードシステム導入検討業務

２．契約業者名　公益社団法人日本港湾協会

３.随意契約理由

本業務は、東北管内の港湾（八戸港、仙台塩釜港石巻港区・仙台港区、小名浜港、酒田港）のバルクターミナルを対象に、バルク貨物の取扱い状況と今後の動向を把握し、効率的な輸送体系の構築を目指して、ＰＳカードの導入に向けた検討を行うものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・実施フロー・工程計画等」 及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と配置予定管理技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、公益社団法人日本港湾協会を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第２９条の３第４項に基づき、公益社団法人日本港湾協会と随意契約を行うものである。